

2015年10月28日

大会の運営に関する改善案と会員からの意見募集について

(公社) 日本気象学会理事会

1. 経緯

既に「天気」2015年9月号「学会だより」(p.795～p.796)でお知らせしていますように、第38期理事会では、秋季を含む大会の運営に関する改善案(以下、大会運営改善案)について、支部長会議・理事会・企画調整委員会ワーキンググループ・講演企画委員会等で、慎重に検討を行ってきました。支部長会議における検討状況については「天気」掲載の第38期支部長会議議事概要(第1回:2015年5月号,第2回:2015年8月号)をご参照ください。

10月15日に開催されました第38期第3回支部長会議において、改善案の詳細について検討を行い、これを受けて10月28日開催の理事会において、以下の2.にお示しする案を理事会案として決定いたしました。

理事会案に基づいた大会運営の実施に先立って、会員の皆様に内容をご説明すると共に、会員の皆様のご意見を頂くことといたしました。

2. 大会運営改善案

○ 秋季大会運営形態

支部ごとに状況が異なることから、各支部で異なる大会運営形態をとることを可能とします。ただし、支部ごとに大会規模が大きく変動しないように配慮します。

なお、2017年度秋季大会(札幌)については、4日間4会場を予定しています。

○ 大会発表に関する条件

講演者については、多くの学会で実施されているように原則として学会員とします。ただし、スペシャルセッション等については、会員外の講演も認めます。

なお、1人当たりの発表件数の制限等については、現在の条件を引き続き適用します。

○ 聴講者の参加費

大会期間の延長・会場数の増加、並びに一部業務の外注化により財政的な負担増が生じることから、聴講者の参加費については、多くの関連学会等で実施されているのと同様に、会員・非会員の区別を導入します。

具体的には、以下の額とします。

- 聴講者(学会員) : 現行と同額(前納3000円・当日4000円)
- 聴講者(非会員) : 現行3000円→前納5000円・当日6000円

なお、講演者につきましては、現行と同額(講演者A:8000円, 講演者B:5000円)とします。

- 大会事務局業務
支部の負担を軽減し、安定的に秋季大会を実施するため、大会事務局業務の一部外注化を実施します。詳細については、今後、各支部において決定します。
- 実施時期
新しい運営方式等の導入は、2017年度からとします。従って、秋季大会については、2017年度札幌大会から新方式となります。
また、発表者の資格の変更（原則学会員）、並びに聴講者の参加費の改定については、2017年度春季大会からとします。

3. 意見募集

この度取りまとめました大会運営改善案につきまして、「天気」誌上並びに学会ホームページに掲載し、会員の皆様のご意見をいただくことといたしました。

- 意見募集の詳細
 - (1)対象：大会運営改善案
 - (2)期間：2015年12月1日～12月25日（必着）
 - (3)提出方法
 - ① インターネット：学会ホームページの「大会運営改善案に対する意見募集」
 - ② FAX：03-3216-4401
 - ③ 郵送：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4（公社）日本気象学会事務局
なお、電話による意見の受付は致しかねますので、ご了承ください。
 - (4)その他
 - ① ご意見の提出にあたっては、会員番号を明記ください。
 - ② 皆様からいただきましたご意見につきましては、個別に回答は致しませんが、大会運営改善案（最終案）の作成に際して参考とさせていただきます。
- 今後の主要なスケジュール
 - 2015年12月1日～12月25日：大会運営改善案に対する意見募集。
 - 2016年1月：理事会において、大会運営改善案（最終案）の了承。
 - 2016年5月：総会において大会改善運営案の報告。
 - 2017年4月～：大会運営の改善を実施。

4. その他

既にお知らせいたしました中期課題（大会の運営に関する事項、大会のあり方、支部事務局体制、会員制度等）につきましても、今後検討を進め、適宜、会員の皆様にお知らせします。

以上